

茨木から矢をはなつ!

● 矢島ひでかずプロフィール ●
昭和55(1980)年10月13日生まれ。両親はともに聴覚障がい(ろう)者。追手門学院大学卒業、同大学院修了。衆議院議員秘書、追手門学院職員を経て、現在は私立幼稚園・小学校の課外活動でロボットプログラミング講師を務める傍ら、市内各種団体に所属し、茨木のまちづくりに携わる。



やじま 令和6(2024)年7月
矢島ひでかず
後援会ニュース 第18号

編集・発行 矢島ひでかず後援会
[事務所] 〒567-0817 茨木市別院町4-1-704
[自宅] 〒567-0085 茨木市彩都あさぎ1-2-18-701
☎090-3928-6958 ✉info@yajima-hidekazu.com
ウェブサイト <http://yajima-hidekazu.com>
フェイスブック <https://www.facebook.com/yajima.hidekazu>

ウェブサイト
QRコード
→→→→→



フェイスブック
QRコード
→→→→→



(1) 重点政策6本の矢

➤茨木の教育から矢をはなつ!

大学コンソーシアムによるリカレント(学び直し)教育の推進
ICT(情報通信技術)教育拡充で不登校児童を積極的に支援

➤茨木の福祉から矢をはなつ!

誰もが高齢者や障がい者になりえることを想定したまちづくり
JR茨木・阪急茨木市両駅前整備におけるバリアフリーの徹底

➤茨木の安全から矢をはなつ!

彩都をはじめ、人口増加校区の警察と連携した防犯・騒音対策
阪急茨木市駅・永代町交番前の信号のない横断歩道の安全確保

➤茨木の交通から矢をはなつ!

中心市街地の慢性的な交通渋滞の緩和および駅前駐車場の整備

➤茨木の育児から矢をはなつ!

待機児童ゼロ実現で共働き世帯・ひとり親家庭の子育てを応援

➤茨木の医療から矢をはなつ!

コロナ禍で明らかとなった小児夜間・休日対応の救急病院誘致



(2) 重点政策①教育編

茨木市は令和5(2023)年度「全国学力・学習状況調査結果」が示す通り、小・中学校ともに全教科で正答率が全国平均を上回っており、全国各地から“教育のまち茨木”として注目されています。

一方、かつて大学の地域連携担当職員として、現在は、ロボットプログラミング講師として、幼稚園・小学校の教育現場に立つ立場から、まだまだ「伸びしろ」があるのではないかと考えています。

例えば、立命館大学との連携によって実施されている「大学連携体力向上プログラム」。市内には、立命館大学以外にも追手門学院大学・梅花女子大学・藍野大学・同大学短期大学部・大阪行岡医療大学の6大学が立地しており、これら特色ある6大学を行政主導によるコンソーシアムを運営することにより、新たな大学連携事業を引き出すとともに、子どもだけではなく、「リカレント(社会人の学び直し)教育」の場を創出することを市政に提案していきます。

●重点政策全6編コラム予告●

7月号 重点政策①「教育編」

8月号 重点政策②「福祉編」

9月号 重点政策③「安全編」

10月号 重点政策④「交通編」

11月号 重点政策⑤「育児編」

12月号 重点政策⑥「医療編」

(3) 政治を志した原点

私の両親はともに耳の聞こえない聴覚障がい者です。字幕のない時代、物心ついた頃から両親の耳代わりとなつてのTVや外出先の手話通訳。私の役割は、周囲の声を両親に送り届けることでした。

こうした家庭環境に生まれ育ち、社会に育てていただいたという感謝の思いから、周囲に対して手を差し伸べることを学びました。

一方、私の子ども時代は、聴覚障がい者に対する理解が今日ほど進んでおらず、誤解に基づいた差別や偏見に傷つけられることも。

それでも、臆することなく、手話の普及やろうあ運動に奔走する親の背中が誇らしく、コーダ(Children of Deaf Adults=両親の一人以上が聴覚障がいを持つ、聴こえる人)としての自らの使命を考える中で、社会に育てられた恩返しとして、人生を社会に捧げることを決意。少数者であるがゆえに、行政に反映されにくい方々の声なき声を届けるために市政へ…。これが政治を志した原点です。



矢島 秀和 (やじま ひでかず) プロフィール

⇒ 昭和 55 (1980) 年 10 月 両親ともに耳の聞こえない家庭に生まれ育つ。(現在 43 歳)

■ 学歴

⇒ 平成 15 (2003) 年 3 月 追手門学院大学 文学部 卒業

⇒ 平成 18 (2006) 年 3 月 追手門学院大学大学院 文学研究科 修了

■ 職歴

⇒ 平成 18 (2006) 年 4 月 衆議院議員大塚高司 秘書

⇒ 平成 23 (2011) 年 4 月 学校法人追手門学院 職員

⇒ **平成 29 (2017) 年 1 月 茨木市議会議員一般選挙 初挑戦 (1,237 票)**

⇒ 平成 29 (2017) 年 4 月 子ども向けロボットプログラミング教室プログラボ茨木 室長

⇒ **令和 3 (2021) 年 1 月 茨木市議会議員一般選挙 再挑戦 (1,319 票)**

⇒ 令和 3 (2021) 年 12 月 追手門学院小学校放課後活動ロボットプログラミング 講師 (現在)

⇒ 令和 5 (2023) 年 4 月 追手門学院幼稚園課外教室プログラミングラボ 講師 (現在)

■ 所属

⇒ 茨木から矢をはなつ会 代表

⇒ 茨木JCシニアクラブ 会員

⇒ 茨木市相撲連盟 事務局次長

⇒ 茨木市倫理法人会 幹事

⇒ いばらき竹灯籠実行委員会 委員

⇒ 茨木フェスティバル実行委員会 学生顧問

⇒ 自衛隊茨木協力会 会員

⇒ 追手門学院大学校友会 理事・広報副委員長

⇒ 異業種交流会茨Oh! 会員

⇒ 茨木市観光協会 会員

⇒ 茨木じゃがいもゴルフクラブ 会員

⇒ 茨木青年会議所 賛助会員

⇒ いばらき絆餐会 会員

⇒ 茨木ライオンズクラブ 社会奉仕委員長

⇒ BLUEPALETTE実行委員会 委員

⇒ 大阪防衛協会青年部会 会員 ほか